

## 不満爆発！中国異常事態（中）「習近平は病気だ！」Z世代の反旗、ゲームの恨みから大胆不敵なシュプレヒコール

2022年12月2日 姫田小夏ジャーナリスト 日刊ゲンダイ



LoL世界大会での中国勢優勝写真が拡散された（SNSから）

2021年は中国の若者が最も抑圧を受けた年だった。ファッション的な嗜好やゲームに興じる時間まで、若者の一挙手一投足をコントロールしたがる習近平政権。どうやら習氏にとって、長時間ゲームをしたり、女性のように化粧したりする「いまどきの若者」は受け入れがたいようだ。

こうしたライフスタイルへの関与が、「Z世代」を中心としたいまどきの若者の怒りを買った。実は若者たちが「習近平批判」の声を上げたのはこれが初めてではなかった。昨年11月にこんなことがあった。それはPCオンラインゲーム「リーグ・オブ・レジェンド（以下LoL）」の世界大会で中国勢が勝利したときのことだった。

LoLは10代後半～20代前半のZ世代といわれる若者たちから絶大な支持を得ている。中国「証券時報」は当時行われた世界大会について「動画共有サイトの実況中継を中国国内の3億5000万人が視聴した」と伝えた。それほど、中国対韓国の世界大会の決勝戦は注目を集めていた。中国チーム「EDG」が、韓国チーム「DK」に劇的な逆転優勝を収めると、中国全土の若者たちが躍り上がった。

チーム旗を掲げながら、キックボードに乗って凱旋したり、電動自転車で隊列を組んだり、愛国心が満たされた喜びを街頭で表現する若者も少なくなかった。ところが、その電動自転車の隊列が叫んでいたのは、あろうことか「習近平は病気だ！」という大胆不敵なスローガンだった。また、商業施設に特設されたパブリックビューイングを前に、すし詰めになった観戦者が一斉に連呼していたのも「習近平は病気だ！」というシュプレヒコールだった。この若者の声は、勝利が決まった21年11月7日、同時多発的に湧き上がった可能性がある。

### ■いまどきのライフスタイルを抑圧する暴君

中国チームの優勝で若者が見せた興奮ぶりは、中国の若者の「ゲーム愛」がハンパなものでないことを物語る。その若者の「ゲーム愛」を抑圧する習氏は彼らにとって暴君であり、街頭で見せた中国の若者の愛国心は、習氏に対する忠誠心とはイコールではない。

あのパブリックビューイングを前に観戦者が上げた「習近平は病気だ！」というシュプレヒコールは、いつかその矛先を本人に向けるときが来るのではないかと予感させた。1年後、ついにそれが現実のものとなった。きっかけはロックダウン。その若者たちが習氏退陣要求のために街頭に繰り出し、白い紙を掲げる姿から見て取れるのは、いまどきの中国の若者は「当局の規制や取り締まりをまったく恐れていない」ということだ。 =つづく